

# 中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

IoT・スマートシティ専門委員会

1/3

企画戦略委員

畑中 芳隆(NTTドコモ)、神保 光子(NEC)

登録委員数

20名 /9社

委員長・副委員長/  
リーダー・サブリーダー

委員長:山田 徹(NEC)、副委員長:後藤 良則(NTT)

図解

活動の目的・意義

- モノのインターネット(IoT)・スマートシティ&コミュニティ(SC&C)の広範な課題について、ITU-T SG20に向けた国際標準への提案活動を推進し、日本の本分野の影響力を向上させる。
- 世界各国で検討・導入が進むIoTおよびスマートシティの事例および各国の都市課題を分析し、本分野のビジネスのグローバル展開に貢献する。

活動する上での課題  
(人材面や運用面での課題を含む)

- 日本の企業、団体、組織などの積極活動による、本分野での影響力確保
- ITU-Tの他SG、および他標準化団体との標準化連携・分担
- 寄書提案数増加に伴う他国提案への対応工数の増加
- 人材の育成と確保、継続

関連のSDGsゴール



標準化方針

- ITU-T SG20に向けた、IoT・スマートシティに関する、国際標準への提案活動の推進  
- 新たな提案案件の探索
- ITU-T SG20における、標準化動向の調査および、対応・対策
- 国内におけるITU-T SG20に係る取り組みや勧告活用のための啓発活動
- ITU-T FG-AI4A (デジタル農業)での議論の調査・分析

国内外の標準化団体等の  
動向

- ITU-T SG20 (直接参画、アップストリーム)
- oneM2M (oneM2M仕様のITU-T勧告化)
- TM Forum (TM Forum仕様のITU-T勧告化)
- ISO/IEC/JTC1 SC41 (IoT・デジタルツイン), WG11(SC)(情報規格調査会)IEC SyC, ISO TC268 (経産省スマートシティ関連データ連携標準タスクフォース)、他
- U4SSC(スマートシティKPIのITU-T勧告化)、他



定義や概念



<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITU-T SG20におけるIoT・スマートシティに関する国際標準への提案活動の推進(寄書提案2件)</li> <li>ITU-T SG20における標準化動向の調査および、対応・対策</li> <li>オンラインセミナー開催: 委員会活動およびITU-T SG20の標準化動向の情報発信、関連分野の識者の講演</li> <li>外部イベントでの情報発信: Interop Tokyo 2023、EdgeTech+ 2023にて、当委員会およびITU-T SG20の活動紹介実施</li> </ul>			
<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BSG専門委員会 : スマート農業に関するオンラインセミナーを共催</li> </ul>			
<p>主な活動項目</p>	<p>概況指標</p>	<p>2023年度目標(当初計画時)</p>	<p>2023年度実施状況</p>	<p>記事</p>
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<p>2</p>	<p>2</p>	
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<p>ITU-T SG20会合 2023年 9月開催予定 ITU-T FG-AI4A会合 開催時期未定</p>	<p>ITU-T SG20会合 2023年9月(開催済) ITU-T FG-AI4A会合 2023年5月、8月、12月(開催済)、</p>	
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>			
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件/0件/0件</p>	<p>0件/0件/0件</p>	
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>TS: 回 TR: 回</p>	<p>TS制定 TR制定:</p>	
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>・TTCセミナー 「IoTスマートシティに関わる標準化・技術動向」 (開催時期未定)</p>	<p>・TTCオンラインセミナー「スマート農業の最新技術と国際標準化動向」(BSG専門委員会と共催、2023年10月16日開催)</p>	
	<p>記事投稿、講演会</p>	<p>TTCLレポート2件 (会合報告、セミナー報告)</p>	<p>・TTCLレポート4件 (セミナー報告×2、SG20会合報告×2) ・Interop Tokyo、EdgeTech+でTTC名義で講演 「スマートシティの国際標準化から見るデジタルツインとその進化」</p>	

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本が注力するIoT・スマートシティアプリケーションの要件定義等でITU-T勧告化を提案</li> <li>デジタル農業に関する標準化議論の調査・分析</li> <li>デジタルツイン、都市のグリーン化等の新興技術に関する標準化動向の調査・分析</li> </ul>
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>IoTエリアネットワーク専門委員会: IoTエリアネットワーク専門委員会での検討結果のITU-T SG20への勧告化提案。テーマ探索</li> <li>BSG専門委員会: スマート農業等新興国との相性の良い領域でのテーマ探索</li> </ul>

主な活動項目	概況指標	2024年度目標(当初計画時)	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2	-	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG20会合 2024年 7月開催予定 ITU-T FG-AI4A会合 開催時期未定		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・TTCセミナー 「IoTスマートシティに関わる標準化・技術動向」 (開催時期未定)		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート2件 (会合報告、セミナー報告)		

# 中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

ICTと気候変動SWG

1/3

企画戦略委員	畑中 芳隆(NTTドコモ)、神保 光子(NEC)	登録委員数	10名 /2社
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	リーダー 原 美永子 (NTT)	図解	
活動の目的・意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT設備のエネルギー効率の評価やスマートエネルギー実現要件、廃棄物削減への各種要件の整理、評価方法の構築に加え、ICTを活用することによる環境貢献の評価方法を構築などにより、ICT自らの環境負荷低減や他セクタへ与える環境貢献を訴求するとともに持続的な社会実現に貢献する。</li> <li>環境課題への貢献の定量化手法は、その妥当性の検証が困難であり、標準化の枠組みにて、国際社会間での合意を形成することが有効。</li> </ul>	<p>SG5 WP2「環境効率, E-waste, サーキュラーエコノミー, 持続可能なICTネットワーク」 WP3「気候変動の適応・緩和, ネットゼロエミッション」における前会期と今会期の研究課題の対応 (別紙参照)</p>	
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーボンニュートラルだけでなく、資源循環、生物多様性などの目標設定がすすめられており、その達成度や貢献を示すための定量化手法が望まれているが、気候変動の緩和を除いて、その貢献量を定量化する手法・技術が未開発の状況。</li> <li>そのため、国内で新たな評価手法が開発された場合はいち早くアップストリームするとともに、国外で有益手法があれば速やかにダウンストリームするなど、情報を流通させることが必要。</li> </ul>		
関連のSDGsゴール			
標準化方針	<p>前会期に引き続き以下の方針で取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>簡易な環境影響評価手法の検討、デジタルテクノロジーの進化に伴う効果やその評価のあり方の変化に対応した評価手法の検討、また、気候変動適応におけるICTソリューションなどは日本に先行優位性がある分野と考えられ、それらの領域に注力して推進する。</li> <li>新設された課題は、スマートシティ・コミュニティに関するものであることから、これまで以上に親委員会と情報共有を深める。</li> </ul>		
国内外の標準化団体等の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧州委員会は、EUのグリーンICTを推進している。ETSI、IEC、ITU-Tなど、代表的な標準化団体で策定されていく気候変動に関する標準規格を域内の規制に利用</li> <li>ISOでは、ISO/TS 14029「製品の環境ステートメントとプログラム-環境製品宣言 (EPD) とフットプリントコミュニケーションプログラムの相互承認」を発行。</li> </ul>		

SG 5 WP 2 「環境効率, E-waste, サーキュラーエコノミー, 持続可能なICTネットワーク」  
 WP 3 「気候変動の適応・緩和, ネットゼロエミッション」における今会期の研究課題と旧課題の関係

番号	課題名	概要	旧課題との関係
WP 2 「環境効率, E-waste, サーキュラーエコノミー, 持続可能なICTネットワーク」			
Q6	Environmental efficiency of digital technologies デジタル技術の環境効率	ICTとデジタルテクノロジーに対する環境効率および要件検討。	旧Q6の一部
Q7	E-waste, circular economy and sustainable supply chain management 電子廃棄物、サーキュラーエコノミー、持続可能なサプライチェーン管理	電子廃棄物におけるサプライチェーンマネジメントおよび回収プロセスの要件検討。	旧Q7
Q13	Building a circular and sustainable cities and communities 循環型の持続可能なシティおよびコミュニティの構築	循環型都市へ移行する際のICT活用のフレームワークやツールの要件を検討。	新設
WP 3 「気候変動の適応・緩和, ネットゼロエミッション」			
Q9	Climate change and assessment of digital technologies in the framework of the Sustainable Development Goals (SDGs) and the Paris Agreement 気候変動、およびSDGsとパリ協定のフレームワークにおけるデジタル技術の評価	ICTの気候変動ならびに生物多様性への貢献について要件、評価法を検討。	旧Q6の一部
Q11	Climate change mitigation and smart energy solutions 気候変動緩和およびスマートエネルギーソリューション	スマートエネルギーシステムに対する開発、管理、エネルギー効率促進の指標、ガイドラインの検討。	旧Q9の一部
Q12	Adaptation to climate change through sustainable and resilient digital technologies 持続可能でレジリエントなデジタル技術を通じた気候変動適応	ICTインフラの気候変動適応ならびに、ICTの他セクタへの貢献の要件検討、事例収集。	旧Q6,9の一部

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	・気候変動への適応策、ICT持続可能評価、エネルギー効率測定法に関わるテーマを中心、標準化対応および成果普及を重点的に進める一方で、国内の優良事例（省資源化技術）について寄書化1件。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・Iot・スマートシティ専門委員会（循環型の持続可能なシティおよびコミュニティの構築）			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	0件	1件	
	外部会合への参加・連携状況	ー	SG5会合：6月、11月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS：0回 TR：0回	TS：0回 TR：0回	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	ー	セミナー 2回（R5/3Q、4Q） （親委員会に協力する形で実施）	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告	・TTCLレポート活動報告（2回） ・APT研修講義	

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本としては引き続き、気候変動への適応策、ICT持続可能評価、エネルギー効率測定法に関わるテーマを中心に、標準化対応および成果普及を重点的に進めることとする。</li> </ul>			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>Iot・スマートシティ専門委員会（循環型の持続可能なシティおよびコミュニティの構築）</li> </ul>			
主な活動項目	概況指標	2024年度目標(当初計画時)	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	0件	-	
	外部会合への参加・連携状況	SG5会合:2回（想定）		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS : 0回 TR : 0回	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	-		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告		